

令和3年度 生徒自ら行う学習環境整美事業 実施報告

1 実施内容

事業名	グラウンドへの土入れ事業
実施主体名	松本深志高等学校野球部
実施人数（生徒）	36名
（職員等）	2名
実施日	6月14日（月）
事業内容	授業や部活動で校庭を使用することで凸凹ができ、雨が降ると授業や部活動に支障がでることがある。その対策として校庭に土を入れ平らにすることで生徒がより取り組みやすく、怪我防止にもつながる環境へと整備を行った。

2 実施成果

○事業を実施した結果、教育的効果（生徒の取り組み等）の状況

いつも使っているグラウンドを自らの手で整備することで、整った環境で活動できることは当たり前ではないことに生徒自身が気づくことにつながった。また、今回の経験から、今後も責任持ってグラウンドを含めた学習環境の整備を実践していこうとする気持ちを育成することができた。

<土入れ作業の様子>



○事業を実施する上での問題点

安全配慮の観点からもグラウンド環境は良好な状態に維持していかなければならないので、定期的な土入れの必要がある。また、その環境を自分たち自身で維持していこうとする生徒への啓発指導が重要である。

○今後、本事業に要望すること

今回の作業により生徒たちは学習環境整備への関心が高まった。今後は、定期的に黒土を補充していくことで、さらにケガの予防につながると考えられるため、来年度以降も事業を行っていくことができるよう、県に要望していきたい。